

会社概要

設立：2005年4月
代表者：代表取締役CEO 磯部 芳彦
代表取締役社長 渡邊 洋幸
資本金：8,000万円
本社所在地：〒243-0022 神奈川県厚木市酒井3080
関連会社：座間三菱自動車販売株式会社
ふそう陸送株式会社



沿革

- 2005年 株式会社コルトスピード設立
三菱車に特化したスポーツパーツや用品メーカーとして創業開始。
- 2009年 スーパー耐久2009シリーズにおいて、コルトスピードがスポンサーしている「ENDLESS ADVAN CS・X（三菱ランサーエボリューションX）がシリーズチャンピオンを獲得。
- 2019年 モンスタースポーツより渡邊洋幸が加入。ECUチューニングをはじめ、エンジン機能部品等の本格的な自社開発やサービスを開始。
スズキスイフトスポーツ、ジムニーのECUチューニング、カスタマイズパーツを開発、販売開始。
三菱デリカD5用カスタムパーツの開発を本格的にスタート。
- 2020年 新車をベースにしたカスタムコンプリートカーを本格的に販売開始。
コルトスピードの公式YouTubeチャンネルが本格的にスタート。
コルトスピードの公式ECサイト「コルトスピード ヤフーショップ店」を開店。
三菱ランサーエボリューションに搭載されるセミオートマチックシステム「TC-SST」のオーバーホール事業を本格的に開始。合わせてSSTミッション用のオリジナル部品の開発をスタート。
- 2021年 株式会社レイズのブランド「TEAM DAYTONA」とタイアップし、デリカファンミーティングへ出店。以後、株式会社レイズのブランド「TEAM DAYTONA」のカタログにコルトスピードデモカーが起用される。
エンジン組み立て室等を完備する大型整備工場建設。国土交通省認証取得。
- 2022年 ヤマハ発動機（モトクロスレース部門）より小沢優一が加入。モンスタースポーツ時代に携わっていたWRC&J-WRC（スズキ）、PWRC（三菱）のエンジン製作の経験を活かし、サービス工場の大幅な戦力アップを成し遂げる。
パワー計測設備「ダイナパック」を設置。
レーシングカー：グループN規格のエンジン製作を基準とした超精密組立コンプリートエンジン「Sスペック」の発売を開始。
- 2023年 渡邊洋幸が社長へ就任。前社長の磯部芳彦が会長職へ就任。
三菱正規ディーラーを中心としたコルトスピード販促イベントを再開。
整備工場設備「ウェットブラスト」を導入。
株式会社レカロの正規ディーラーとなる。
- 2024年 オープンデッキ型エンジンブロックの補強に関して特許を取得。
株式会社カーメイトとタイアップし、コルトスピードコンプリートカー「アウトランダーGN0W」を大阪フィッシングショーへ出展。以後、株式会社カーメイトのカタログ撮影等でコルトスピードデモカーが起用される。
コルトスピードの公式ECサイト「コルトスピード 楽天市場店」を開店。
- 2025年 相模原物流センターを新設。
株式会社カーメイトとタイアップし、コルトスピードコンプリートカー「デリカD5」を大阪フィッシングショーへ出展。
アライメント計測設備を一新し、最新デジタル式を導入。
整備工場設備「ウェットブラスト」を更に大型化し生産性を強化。
オリジナルパーツ「SUPER TECH」シリーズを設定。まずはビルシュタイン社と開発をした「SUPER TECHダンパー」を発売。



エンジニア紹介

三菱自動車を中心に日本のモータースポーツの歴史、特にレーシングエンジンに深く関わってきたコルトスピードが誇る日本有数のレジェンドエンジニアを紹介。



渡邊プロフィール

1982年～1991年

HKSにて競技用エンジンの開発に携わる。三菱リアートチームのエンジン開発責任者としてスタリオンGr.Aのエンジン開発を行いインターテック、国内Gr.Aレースに参戦で多くの勝利を獲得。

1988年から三菱が篠塚健次郎選手がドライブするギャランVR-4でアジアパシフィックラリー選手権に参戦。

エンジン開発責任者としてチームに同行。アジアパシフィックラリー選手権の初代チャンピオンを獲得。

同時期に三菱およびADVANチームと共に世界ラリー選手権にも参戦。多数のワークス勢が参戦する中で好成績を収める。

1992年～1999年

東名自動車（現：東名パワード）に移籍。

N2レギュレーションの日産シルビア用SRレースエンジンを開発。本年シリーズチャンピオンを獲得。

フォーミラ（F4）日産SR18エンジンを開発、販売を開始。F4筑波シリーズチャンピオン（日産R18DE）獲得。

F4用マツダエンジンを開発。F4鈴鹿シリーズチャンピオン（マツダBP）獲得。

業界に先駆け、コンプリートエンジンを商品化。

スーパー耐久向けのランサーエボリューション用4G63エンジンを開発開始。4チームへエンジン供給し、クラス優勝を含め好成績を収める。

日産GT-R（R32）ドラッグレースエンジンの開発と共に、車両開発（ラジアルタイヤクラス）を行い、この年の主なイベントでことごとく優勝、日本記録も樹立し、日本一となる。翌年車両を日産GT-R（R34）へ変更。

三菱ランサーエボリューション用の4G63エンジンを、全日本ダートトライアル選手権と同ジムカーナ選手権参戦チームに供給。

2000年～2008年

トップハンティングでスズキスポーツに移籍。競技用エンジンの開発責任者に抜擢される。

全日本ダートトライアル選手権用エンジンを開発。2003年～2004年はシリーズ全戦で優勝

パイクスピークヒルクライム用エンジンを開発、2006年から2011年まで6連覇を達成

ヒルクライム「RACE TO THE SKY (NewZealand)」にスズキスポーツ開発責任者として参戦、コースレコードを含む5年連続総合優勝を納める。

世界ラリー選手権S1600クラス用エンジンを開発。2002年から2007年までの間、2度のチャンピオンを獲得

2006年、タジマモーターコーポレーション「モンスタースポーツ」ブランドでPWRCにランサーEVO9Gr-Nで参戦。

開発責任者として指揮を執り、初年度の参加にも関わらず、シリーズ2位を獲得。

2007年よりWRCのトップカテゴリーに、自社車両SX4をベースとしたSX4WRCでテスト参戦。

2008年はスズキ(株)がWRC全戦に参戦。スズキスポーツ技術本部長として開発の指揮を執る。

タジマモーターコーポレーション「モンスタースポーツ」のエンジン事業部として、全日本ジムカーナのエンジンチューニングを手掛ける。ランサーエボ9の4G63、ランサーエボ10の4B11エンジンを全日本ジムカーナ参戦チームへ供給、川脇選手が3度の全日本チャンピオンに輝く。

2008～2014年

モンスタースポーツ直営ショップのカスタマーサポートとして、モータースポーツ愛好家へのエンジンやECUセットアップを中心に技術提供を行う。

カスタマーの中には、ダンロップ主催DIREZZAチャレンジ参戦選手で、2008年から2014年までの7年間で、全国大会優勝4回、2位2回、3位1回と圧倒的な勝率でDIREZZAチャレンジを席卷したドライバーも。

2015～2019年

(株)タジマモーターコーポレーション：モンスタースポーツ事業部として、スズキ車を中心に商品開発責任者としてコンプリートカーや各パーツの開発、オートサロンやオートメッセの出展などの指揮を執る。YouTubeでの商品開発説明など、分かり易いと好評で、スズキ車ユーザーの支持を得る。

2019年下半年～

株式会社コルトスピードへ移籍。自身が永年培ったモータースポーツ活動をDNAとする顧客サービスを開始。現在に至る。

小沢プロフィール

2004～2008年（スズキスポーツ/モンスタースポーツ）

プロダクションカー世界ラリー選手権（PWRC）参戦用4G63エンジン開発（ランサーエボリューションIX）、レース時はエンジニアを担当。

担当した三菱パリエーストチームのランサーエボリューションIXは、常にトップ争いをを行いシリーズ上位で席巻した。

ジュニア世界ラリー選手権（JWRC）参戦用M16エンジン開発（スイフト）、レース時はエンジニアを担当。スイフトS1600、イグニスS1600のシリーズチャンピオンに大きく貢献した。

FIA世界ラリー選手権（WRC）参戦用J20エンジン開発に参加（SX4WRC）。

2009～2014年（タジマモーターコーポレーション）

モンスター静岡磐田店立ち上げ、その後も運営スタッフとして従事。

モンスタースポーツのブランド商品開発（主にエンジン関連）。

全日本ジムカーナ用及び全日本ダート用4B11、4G63エンジン開発。

2014年～2022年（ヤマハ発動機）

全日本モトクロス選手権におけるレース現場エンジニアを担当。

2017年には、全日本モトクロス選手権で最も参戦台数が多い激戦の「IA2クラス」で担当ライダーが年間チャンピオン獲得。

モトクロス競技用YZ250F、YZ450Fのエンジン開発を担当。

2022年

株式会社コルトスピードへ移籍。

2輪&4輪でのレース車両開発やレース現場、そして店舗での運営スタッフなど経験を活かし、部品開発やサービス工場のマネジメント、コンプリートエンジン作成やTC-SSTを含めてミッションオーバーホールなど、多彩に自身の手腕を発揮中。



設備紹介

エンジン組立室

常に一定温度に保たれたクリーンスペースで高精度なエンジン組立が行われます。

洗浄室・研磨室

メンテナンス、各種オーバーホールの際には、永年の使用により蓄積した汚れや錆をウェットブラスト、サンドブラストを駆使して洗浄します。研磨室は切削粉が飛散しない換気装置を備えています。

4輪アライメントテスター

国産全車種に対応したエーミング作業も可能な最新鋭4輪アライメントテスター。

ワークショップにはマルチリフト1基、シザースリフト1基、2柱リフト1基を備えています。



ダイナパック

エンジンオーバーホール後の性能確認、ECUセッティングや商品開発では必須の4WD車対応ダイナパック。

トルコン太郎

自動車に使用するオイルやフルードは種類や銘柄の違うオイルが混じり合った瞬間に性能劣化してしまう性質を持っているため、高性能フルードをフィルターを通して高圧で巡らせ、内部洗浄とともにオイルクーラー内を含め全量入替えが可能な全自動フルードチェンジャー。

カーエアコンサービスステーション

充填されているガスを抜き取り、計量。抜き取ったガスのクリーニングを行い、規定量に足りない分を追加して再度注入作業を行い、本来のエアコンの性能を取り戻します。